

新ごみ処理施設

(熱回収施設)

建設候補地説明会

江南市

広域ごみ処理施設建設対策室

1. 新ごみ処理施設建設 候補地の選定経緯

○これまで2市2町で検討された候補地

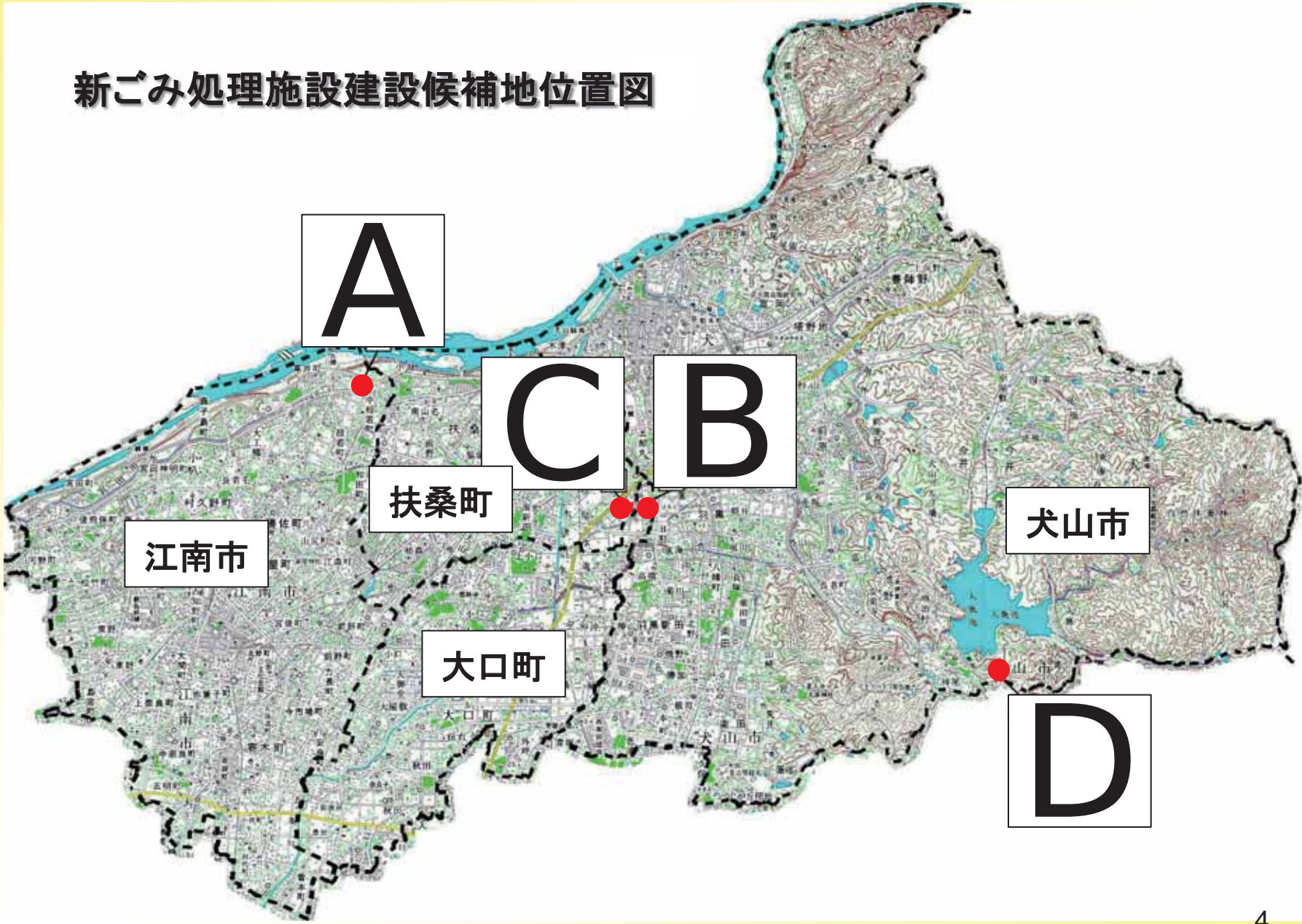
候補地A 江南市中般若町北浦地内

候補地B 大口町河北一丁目131番

候補地C 扶桑町大字高雄字突田地内

候補地D 犬山市字喜六屋敷地内

新ごみ処理施設建設候補地位置図





候補地 **A**
(江南市)

候補地 **C**
(扶桑町)

候補地 **B**
(大口町)





候補地 **D**
(犬山市)

○平成20. 10. 16

◆新ごみ処理施設建設候補地検討委員会へ
候補地の検討を依頼

検討委員：各市町から5名 計20名
(住民代表2名、議会2名、行政1名)

検討委員会を7回開催

○平成21. 4. 28

◆同委員会より一次検討結果の報告を受ける

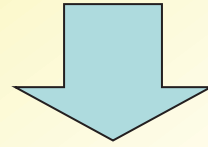
○平成21. 6. 8

◆同委員会へ4候補地の二次検討を依頼

検討委員会を6回開催

○平成22. 1. 21

◆同委員会より二次検討結果の報告を受ける



第1小ブロック会議で協議

○平成22. 4. 16

◆候補地を

候補地A(江南市)と候補地D(犬山市)
の2か所に絞り込むことを決定

○平成22. 5. 25

◆候補地D(犬山市)を建設候補地と多数決で決定

判断基準: 社会環境、自然環境において優位

- 半径500m以内に学校、病院、福祉施設等が存在しない
- 昼間12時間を通して道路が混雑することなく、ごみ収集車が通行することによる影響が少ない
- 砂防指定解除が必要となる可能性があるが、それ以外は規制解除の必要はない

候補地選定にあたって

平成22.5.25

第1小ブロック会議で犬山市池野地区を決定

地元調整
難航

平成24.10.2

江南市の受入表明

平成24.12.26

市内候補地を検討し中般若地区を選定

第1小ブロック会議で検討

2. 江南市の受入表明

建設候補地受入の背景

○犬山市池野神尾地区の凍結宣言（平成24年8月19日）により、行き詰まった状況に陥る

新施設の稼動は平成30年度を目標に進めている



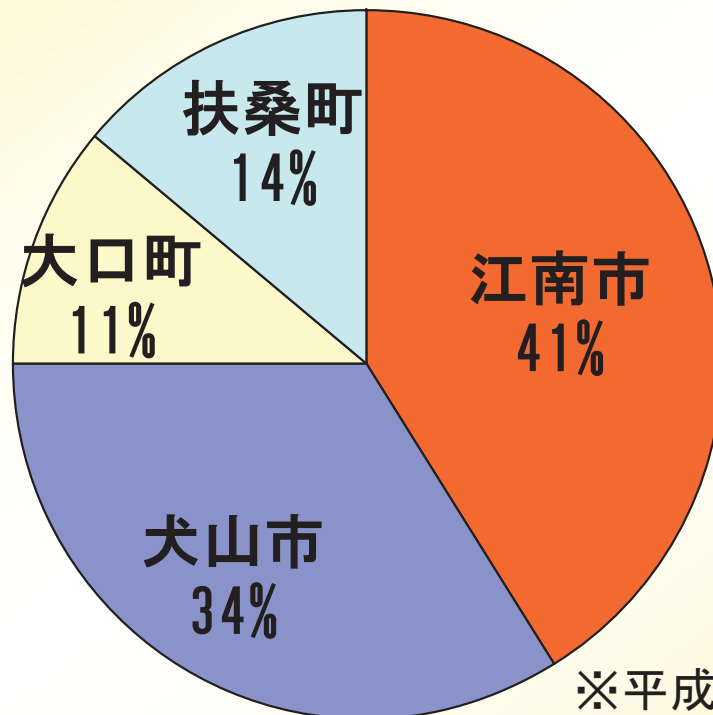
こうちやく
膠着状態にある現状を早期に打破！

受入にあたっての考え

○構成市町の中で江南市が最も多くごみを出すにも関わらず、江南市には広域で処理する施設が一つもないという状況

10万人都市としての責任を果たすため

◆構成市町ごみ排出割合



※平成23年度実績

◆現在の広域処理施設

し尿処理：岩倉市
火葬場：犬山市
ごみ処理：大口町

建設候補地受入表明

○平成24年10月2日 第1小ブロック会議

(江南市)

- ・2市2町の枠組みは堅持
- ・現在の犬山市の候補地では、これ以上の進展が望めなく候補地見直しの必要性があるため、江南市での受入を表明

(他市町)

- ・江南の具体的な候補地、スケジュールがない現時点での建設候補地の見直しはしない
- ・江南市の提案について各市町持ち帰って検討

○平成24年10月 2日 中般若区役員(顧問・副区長)

○平成24年10月 6日 中般若区会、般若区会

○平成24年11月10日 草井区会

- ・江南市の受入表明の趣旨を説明

各市町検討結果報告

○平成24年11月12日 第1小ブロック会議

(江南市)

- ・江南市の建設候補地決定までに1年3か月から1年半は必要
- ・各市町から江南市の候補地受入について同意が得られれば、事業推進のための組織を設置することを検討

(他市町)

- ・現時点では建設候補地は犬山であることは変わらない
- ・江南の建設候補地受入提案の同意については、具体的な候補地、スケジュールなどを提示していただくことが前提となる
- ・江南の候補地がどこであるかなど、提案内容が具体的でないため、議論にならず受入表明の報告に留まる

江南市内の候補地選定作業の早期対応が求められる！

3. 江南市候補地選定

江南市内の候補地の洗い出し

○3ヘクタール以上の一団となったエリアを洗い出し



江南市内の5つの候補地

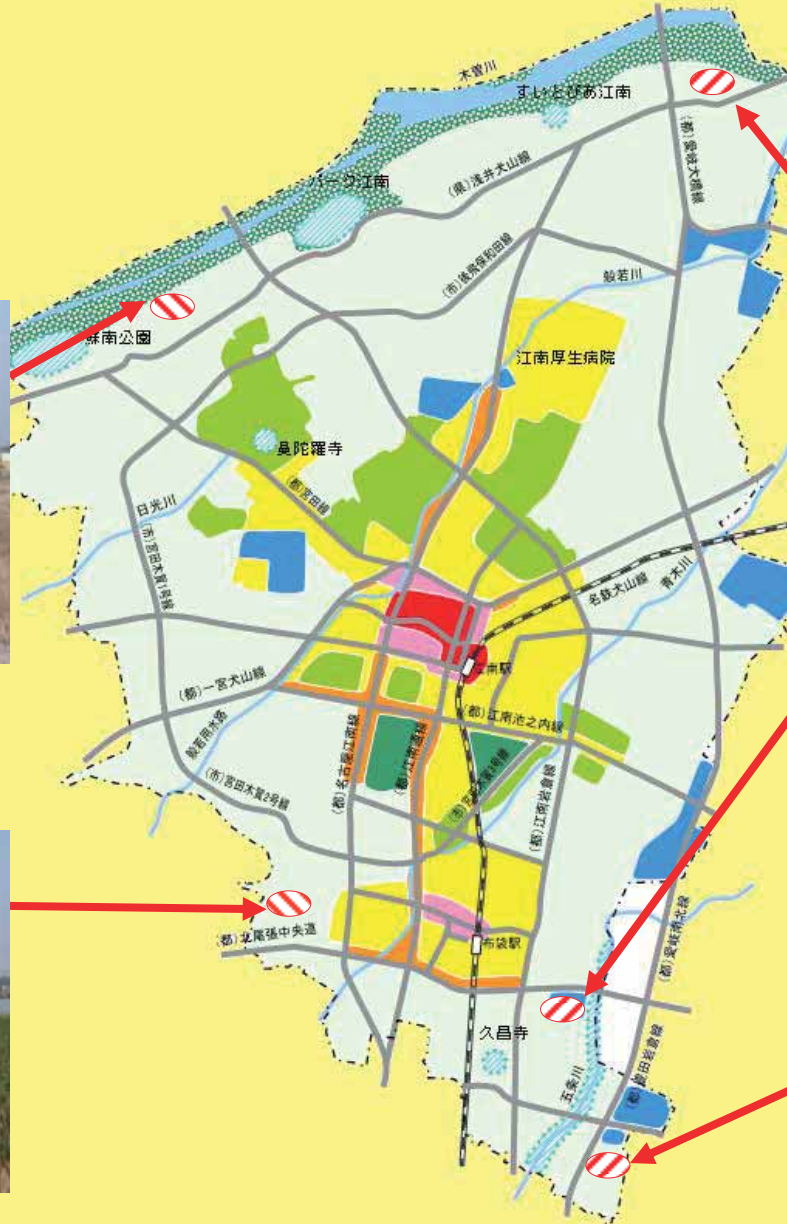
- ◆中般若町北浦地内 7.2ヘクタール
- ◆宮田町河沼地内 4.1ヘクタール
- ◆五明町福森地内 5.8ヘクタール
- ◆曾本町二子前地内 9.6ヘクタール
- ◆小折町八反畑地内 7.6ヘクタール

江南市内の5つの候補地

宮田町河沼地内



五明町福森地内



中般若町北浦地内



小折町八反畑地内



曾本町二子前地内



選定・評価における要素

○第1小ブロック会議の候補地検討委員会、他自治体の評価要素を参考

①基本要素

◆施設を建設する上で必要となる基本的な項目

②重要要素

◆候補地を決定する上で大きな比重を占める項目

③参考要素

◆候補地を決定する上で考慮しなければならない項目

基本要素

①敷地面積の確保

判定基準	評価
4ha以上の整形地が確保できる	○
3ha以上4ha未満の整形地が確保できる	△
3ha未満の整形地が確保できる	×

基本要素

②アクセスのしやすさ

判定基準	評価
主要道路(国道、県道、都市計画道路)に接続している	○
主要道路(国道、県道、都市計画道路)に近接している	△
主要道路(国道、県道、都市計画道路)に接続・近接していない	×

重要要素

③用地確保のしやすさ

判定基準	評価
地権者が少なく土地取得が容易である	○
地権者はまあまあ多いが、土地取得はなんとか可能である	△
地権者が非常に多く土地取得が困難である	×

重要要素

④ 近くの住居の少なさ

判定基準	評価
周囲500m以内の住宅等が200戸未満である	○
周囲500m以内の住宅等が200戸以上500戸未満である	△
周囲500m以内の住宅等が500戸以上である	×

重要要素

⑤ 運搬経費の安さ

判定基準	評価
構成市町からの運搬経費が一番安い	○
構成市町からの運搬経費は中間的なものである	△
構成市町からの運搬経費が他に比べて極めて高い	×

参考要素

⑥学校、病院、保育所、老人福祉施設等の有無

判定基準	評価
周囲500m以内に学校、病院、保育所、老人福祉施設等がない	○
周囲500m以内に学校、病院、保育所、老人福祉施設等がある	×

参考要素

⑦搬入道路における集落等の通過

判定基準	評価
集落等を通過せず施設に搬入が可能	○
施設に搬入するために一部集落・住宅団地を通過する	△
施設に搬入するために相当規模の集落・住宅団地を通過する	×

参考要素

⑧行政計画とのつりあい

判定基準	評価
土地利用構想、土地利用計画上支障がない	○
土地利用構想、土地利用計画とは異なるが、大きな支障でない	△
土地利用構想、土地利用計画上著しい支障がある	×

参考要素

⑨土地造成のしやすさ

判定基準	評価
地形等による構造上の支障がなく、土地造成が容易である	○
地形上の問題により造成上の開発投資が必要である	△
急峻な地形等により土地造成が困難である	×

参考要素

⑩土地利用の現況

判定基準	評価
現在のところ土地はほとんど利用されていない	○
現在のところ土地の多くが他の目的(田、畑等)に利用されている	×

総合評価の判定基準

○基本要素、重要要素及び参考要素ごとに下記の得点を合計し、総合評価を行う

項目	○	△	×
基本要素 2項目	5点	3点	1点
重要要素 3項目	10点	6点	2点
参考要素 5項目	3点	2点	1点

10項目の得点の合計と評価

項目	45点以上 55点以下	35点以上 44点以下	34点以下
総合評価	A	B	C

市内5候補地の各評価

候補地	基本要素		重要要素			参考要素				
	①敷地面積の確保	②アクセスのしやすさ	③用地確保のしやすさ	④近くの住居の少なさ	⑤運搬経費の安さ	⑥学校等施設の有無	⑦搬入道路の集落通過	⑧行政計画とのつりあい	⑨土地造成のしやすさ	⑩土地利用の現況
中般若町北浦	○	○	△	○	○	×	○	○	△	○
宮田町河沼	○	△	△	×	△	○	○	○	○	○
五明町福森	○	○	△	×	△	○	○	○	○	×
曾本町二子前	○	△	△	×	△	×	○	○	○	×
小折町八反畑	○	△	△	△	△	×	○	△	○	×

市内5候補地の総合評価まとめ

候補地	総合評価	10項目の 得点の合計
中般若町北浦	A	48点
宮田町河沼	B	37点
五明町福森	B	37点
曾本町二子前	C	33点
小折町八反畑	B	36点



4. 江南市候補地の発表経緯

○平成24. 12. 6

◆市幹部会議 江南市の候補地の選考



○平成24. 12. 17

◆市議会(全員協議会)
江南市の候補地を説明



○平成24. 12. 26

第1小ブロック会議で発表

建設候補地発表

○平成24年12月26日 第1小ブロック会議

(江南市)

- ・市内の建設候補地を中般若町北浦地内であることを発表
- ・第1小ブロック会議の建設候補地が犬山である中で、今後、江南市を建設候補地として検討していくことを決定しないと、地元への説明ができない

(他市町)

- ・江南市の提案について各市町持ち帰り判断する

○平成25年1月20日 中般若区三役会

○平成25年1月26日 般若区会

○平成25年2月 2日 草井区会

- ・江南市の現状を説明

5. 第1小ブロック会議での合意

合意内容

○平成25年2月4日 第1小ブロック会議

・候補地の地元同意を得るための活動が了承

◆緊急の課題である、ごみ処理を滞りなく進め、住民の負託に応えることを最優先に据える

◆江南市が提案した中般若地区の建設候補地については、江南市が責任を持って、速やかに地元及び地権者の同意を得るものとする

◆地元同意が得られた時点で、第1小ブロックのごみ処理施設の建設地とする

◆事業を進めるに当たり、施設の敷地面積・地域振興策・一部事務組合の設立等については、第1小ブロック会議での協議により決定する

確認事項

○第1小ブロック会議準備室

- ・犬山市役所から江南市役所に移設
(平成25年4月1日より)

○第1小ブロック会議会長

- ・扶桑町長から江南市長に交代
(平成25年4月1日より)

6. 広域ごみ処理施設建設 対策室の設置

広域ごみ処理施設建設対策室

○平成25年3月1日設置

候補地の地元同意を得るための活動が了承されたのを受け、

市制始まって以来の最重点事業

と位置づけ、全市を挙げて対応するため、建設候補地の地元及び地権者の同意を得るための組織を生活産業部に設置

○所掌事務

- ◆広域ごみ処理施設の建設候補地の地元及び地権者の同意を得ること
- ◆その他広域ごみ処理施設建設対策に関する事務

7. 新ごみ処理施設の事業 計画概要

○新ごみ処理施設の概要

処理能力 (施設規模)	①熱回収施設 236トン／日 ※
	②粗大ごみ処理施設 ・破碎、選別、保管施設
敷地面積	概ね3ha
稼働予定年度	平成30年度以降

○処理対象ごみ

・一般廃棄物のうち、可燃ごみや粗大ごみ・不燃ごみの破碎残渣などです

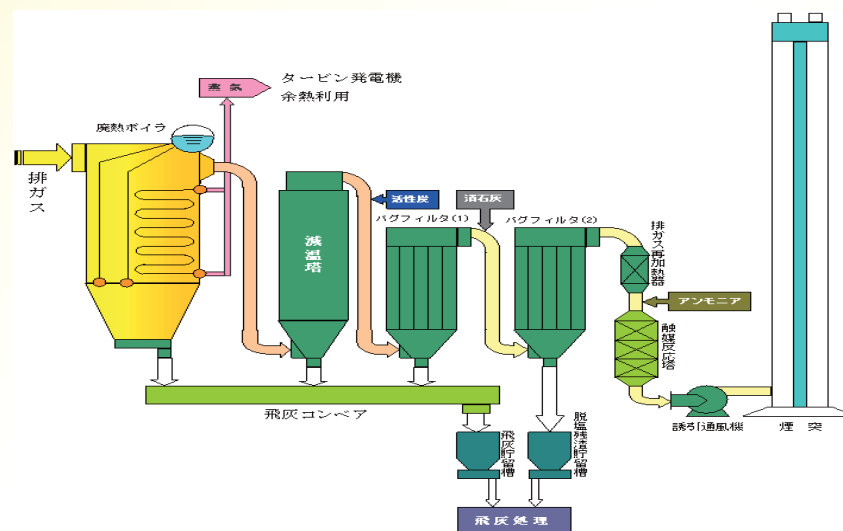
※処理能力には災害ごみ、草・剪定枝、し尿処理残渣を含みます

◆ごみの減量、資源化を図り、必要最小限に抑えるため、
処理対象ごみの取り扱いについては今後検討していきます

○環境保全対策

ア 排ガス

排ガスは、関係法令で定められた規制値より低減できるように、建設し運用します



イ 環境データの表示

施設の運転状況、煙突からの排ガス濃度測定値をリアルタイムに表示する設備を設置します



測定結果は住民の皆様へ公開します

ダイオキシン類の発生防止

環境省の基準

◆原則として全連続炉

○焼却炉の構造と一定の運転条件

- (1) ごみ質の均一化と連続運転の長期化
- (2) 燃焼温度850°C以上の高温処理
- (3) 十分なガス滞留時間(2秒以上継続)
- (4) 200°C以下への排ガス的高速冷却とバグフィルターの設置
- (5) 排ガス中のCO濃度の連続的測定記録

ダイオキシン類の発生防止

ダイオキシン類の除去方法

- 高度安定した燃焼環境
- バグフィルターの活用
- 活性炭による吸着

- ◆バグフィルター…排出ガスのろ過集じん装置。ろ材として織布または不織布を用い、排ガスがろ布を通過するとき、排ガス中のダイオキシン類を含むばいじんが、ろ布表面に堆積される
- ◆活性炭…脱臭、脱色、脱味、空気や水の浄化などに用いる炭

◎ダイオキシン類は国の排出基準よりも厳しく監視

ごみ焼却施設の煙突からの煙

人体や環境に悪影響はないのか？

○施設の外へガスを排出するときは、バグフィルター等で、煙の中のホコリや細かいごみを取り除き、排出します

◆気温が低い冬や湿度の高い日等に、施設の煙突から煙が出ているように見えますが、これは主に水蒸気です

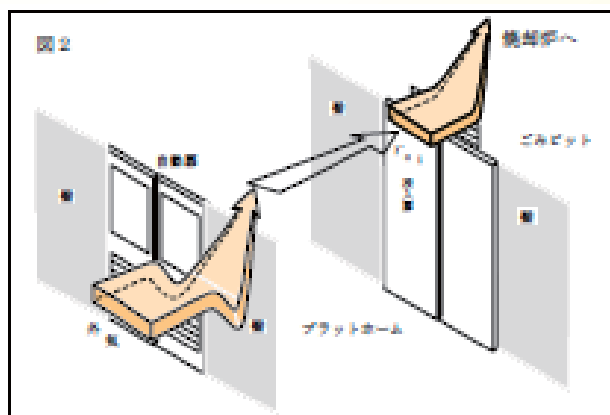
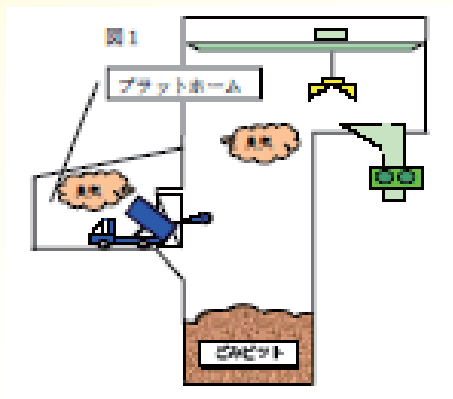
○環境保全対策

ウ 臭気対策

ごみ投入プラットフォームやピットからの臭気が外部に漏れることを防ぎます

臭気は、燃焼空気として活用し、熱分解

臭気が外に出ないようにドアの二重化などを検討



エ 排水対策

(クローズドシステム)

プラントから出た水は、排水処理施設で浄化し、施設外に放流せず、再利用します



排水は河川に流出したり、地下に浸透はしない

オ 地元の皆様と情報共有

地元の皆様に対して、施設の運営状況や排ガスの測定結果等の報告などの情報公開や意見交換を行い、「安全・安心」な施設運営に努めます

○運搬車両の走行による騒音や振動

◆通学や生活などの環境に影響を与えることがないように、アクセス道路を選定(収集は別として、いわゆる郷中道路や通学路はできる限り通らないようにします)

○運搬車両の実績

塵芥収集車による1日平均の延べ搬入台数は
家庭系＋事業系あわせて

2市2町で**パッカー車延べ96台** / 1日平均
(平成23年度実績)

※これに2市2町の住民の皆さんの直接搬入等が
加わります

受入時間の午前8時30分～午後4時30分までの8時間
に分散されるため、交通に与える影響は多くありません

渋滞や安全性の問題が発生しないよう、搬入経路の選
定には十分注意します

ごみ処理施設の安全性

全国的に見てもごみ処理施設は安全な施設

○ごみの焼却によって発生する、排ガス、排水、臭気
→最新の公害防止技術により除去

◆江南丹羽環境管理組合 環境美化センター

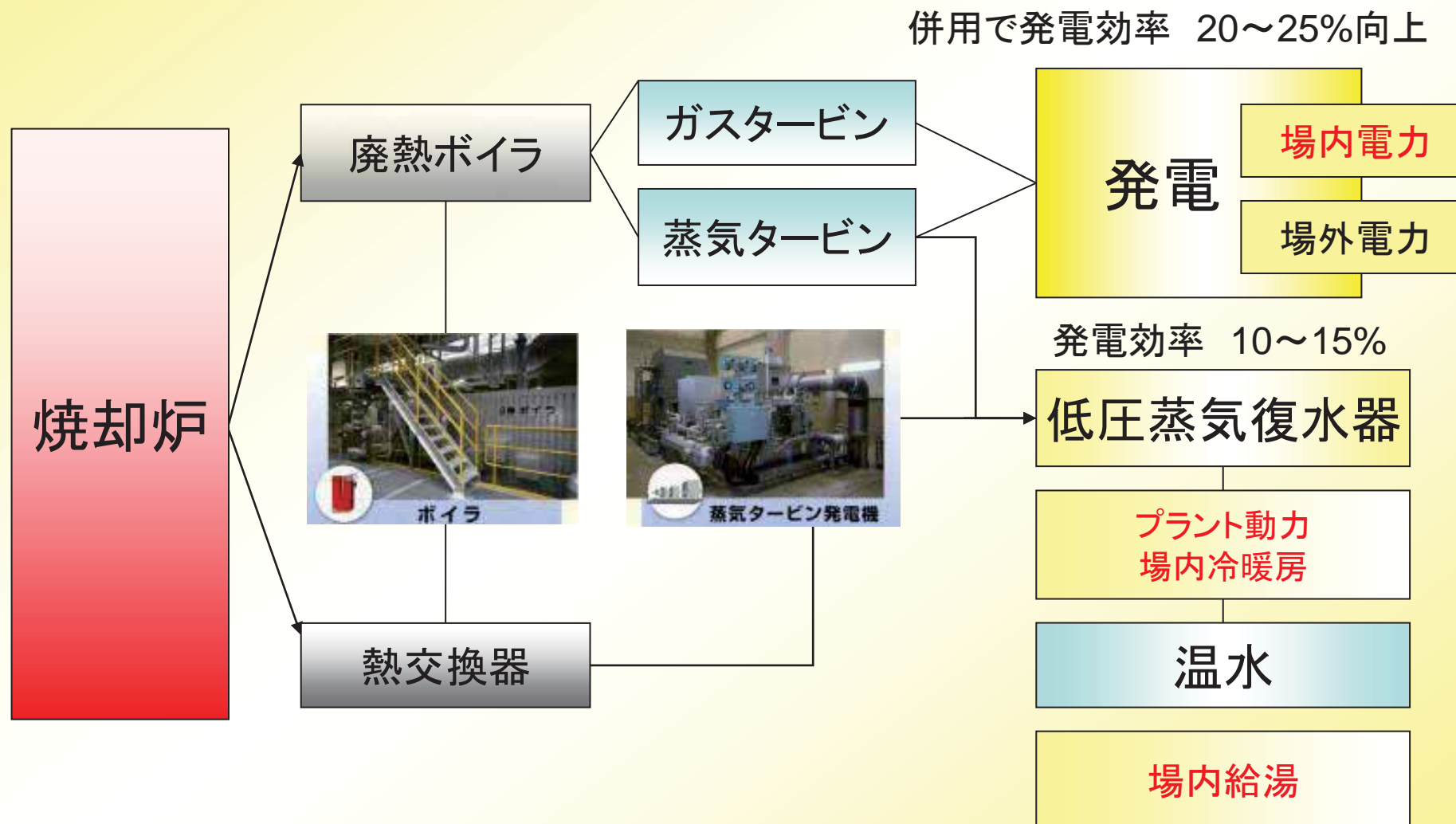
国の排出基準よりも厳しい数値を地元との協定値としている
30年前に建設した施設ですが、延命化対策により現在もなお
安全運転をしています

◎計画する施設においても、国の排出基準より低減

◎具体的な数値は環境アセスメント、最新の排ガス設備を考慮
し、地元の皆さんと話し合いで決定

◎測定値は積極的に情報公開

○余熱利用



熱エネルギーの利用方法

新ごみ処理施設(熱回収施設)のエネルギーは、施設の稼動に必要なエネルギーを確保した上で、その余剰分を余熱利用施設で利用します



①新施設でのごみ処理に必要なエネルギー

◆プラント動力、場内給湯、場内消費電力など

②余熱利用施設に供給するエネルギー

③その他(売電など)

※上記①②で必要なエネルギーを確保してなお熱量に余裕がある分については、余剰電力として電力会社に売電

8. 地域振興策

地域振興策

◎地域振興策は第1小ブロックで決定

地域振興策については、地元要望を調整した上で第1小ブロック会議で決定していきます

【地域振興策の着眼点】

1. 地域活性化に向けた取り組み
2. 先進的な環境創造の取り組み
3. 快適な住環境の整備
4. 地元経済の振興
5. 安心・安全な地域づくり

9. 今後の進め方について

○新ごみ処理施設整備検討委員会

新ごみ処理施設整備計画の詳細については、地元の皆さんと協議しながらとりまとめ、その実施に努めます

①処理方式の選定に関する基本方針を設定



②検討条件の確認



③処理方式選定に関する基本事項を整理

新ごみ処理施設整備検討委員会

④住民参加による余熱利用方法等の検討



⑤資源化・余熱利用方法の決定



⑥処理方式の決定

- (ア) 万全な公害対策
- (イ) 故障時などの安全対策及び危機管理の充実
- (ウ) 建設費及び維持管理費の低減
- (エ) 資源循環型社会形成に寄与し、最終処分量の低減が図れるシステム
- (オ) 余熱エネルギー等有効利用
- (カ) 地域環境等との適合

**地元住民の参加
をお願いします**

広域ごみ処理施設建設対策に関する問合せ

江南市役所 生活産業部
広域ごみ処理施設建設対策室

※循環型社会形成推進のため広域的かつ総合的に廃棄物を
処理し、リサイクル施設の整備を推進します

電 話 0587-54-1111 内線443、444

F A X 0587-56-5516

Eメール gomikensetsu@city.konan.lg.jp